

第1回 公共施設再配置ワークショップ広報便

～ みんなで考え、みんなで作る、公共施設のこれから ～

公共施設の再配置について、町民の皆さんのアイデアを町への提言としてまとめるため、計4回のワークショップの開催を予定しています。

9月3日(土)に、その第1回目のワークショップが開催されましたので当日の様子やその内容を報告いたします。(参加者20名)

第1回テーマ：どんな屋久島町にしたいか明確にしよう！



1 現状を書き出してみよう！

現在の屋久島町において、『良いところ』と『足りないところ』について書き出すことで現状の活かせるポイントと課題の見える化を図りました。

良いところ

- ・屋久島町の食(サバ節、ジビエ、トビウオ、マンゴー等)
- ・屋久島町の雄大な自然

足りないところ

- ・雨の日に利用できる施設が少ない
- ・小児科がない
- ・地域による交通格差が顕著

2 理想の屋久島町を地図に描こう！

参加者の方たちの描く理想の屋久島町像を書き出し、意見を交換しました。

また、中学校区のエリアを絞った内容についてもワークショップを行いました。

(1) 屋久島町の将来像

自然の魅力あふれる屋久島町
暮らしやすいまち、子どもたちが戻りたくなるまち

企業を誘致して産業
雇用の増進を促す

雨の日に利用できる
施設を設置

買い物場所を増やす。
または移動販売など
の実施

駐車場を整備し、
人の流れを生み出す

地域ごとの交通格
差をなくす

地区で続けられて
いる伝統行事の子
供達への発展継承

(2) 中学校区

中央中学校区

子どもや高齢者などが集えて、雨の日でも利用できる施設が必要。買い物ができる場所も少ないので改善が必要。

安房中学校区

現状はコンパクトにまとまっているが、駐車場が少なく、人の動きに対する不便さの改善や公営住宅の見直し等が必要。

岳南中学校区

交通の便が悪い。コミュニティバスの運行などの高齢者に寄り添った「地域の足」の確保。